[5] バングラデシュ

主要経済指標等（2014年）

- ●人口……1.59億人
- ●ＧＮＩ総額……1,715.95億ドル
- ●ＧＮＩ一人あたり……1,080ドル
- ●経済成長率……6.1%
- ●失業率（2013年）……4.3%
- ●対外債務残高（2013年）……278.04億ドル
- ●援助受取総額（支出純額）（2013年）……26.69億ドル
- ●ＤＡＣ分類……後発開発途上国
- ●世界銀行分類……ii／低中所得国

出典）WDI（世界銀行）等。詳細は解説参照

表－1 我が国の対バングラデシュ援助形態別実績（年度別）

（単位：億円）

年　度	円借款	無償資金協力	技術協力
2010 年度	－	31.49	27.74(24.11)
2011 年度	599.69	11.35	37.77(29.04)
2012 年度	1,663.76	22.08	36.32(28.39)
2013 年度	－	40.86	50.09(42.38)
2014 年度	1,209.86	14.05	38.15
累　計	10,666.35	4,777.73	794.66(723.40)

※脚注参照

ミレニアム開発目標（ＭＤＧｓ）代表的な指標	過去データ	最新データ
●目標１：１日1.25ドル未満で生活する人々の割合	70.2%(1991)	43.3%(2010)
●目標２：初等教育における純就学率	72.0%(1990)	96.2%(2010)
●目標３：初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率（男子を１とした時の女子の人数）	0.84人(1990)	1.06人(2011)
●目標４：５歳未満児の死亡数（1,000人あたり）	143.7人(1990)	41.1人(2013)
●目標５：妊産婦の死亡数（出生児10万人あたり）	550人(1990)	170人(2013)
●目標６：15～49歳のHIV感染率（100人あたりの年間新規感染者数の推定値）	－	0.00%(2013)
●目標７：改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	68.1%(1990)	86.9%(2015)

出典）Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

主要ドナーの対バングラデシュ経済協力実績（2013 年）

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

1 位 日本 435.25	**2 位** 英国 426.11	**3 位** 米国 175.23	**4 位** ドイツ 111.71	**5 位** オーストラリア 91.91

出典）OECD/DAC

バングラデシュに対する我が国ODA概要

1．概要

我が国は、西側諸国に先駆けて 1972 年にバングラデシュの独立を承認して以降、一貫して友好関係を保ち、主要ドナーとしてバングラデシュの経済社会開発への取組に積極的に関わっている。なお、我が国は 2014 年 5 月及び 9 月の日・バングラデシュ首脳会談において、2014 年より概ね 4 年から 5 年を目処に、バングラデシュに対し、最大 6,000 億円の支援を実施する意図を表明した。

2．意義

良好な二国間関係の増進、国際場裡における協力関係の強化に加え、新たな生産拠点や市場を求める我が国企業の同国への進出拡大を通じた、貿易・投資などの経済関係の拡大に貢献する。また、同国は人口の 3 分の 1 弱の貧困人口を抱えているところ、ミレニアム開発目標（MDGs）の達成を支援することで、同国の経済社会開発に貢献し、もって南アジア地域の安定的な発展に寄与する。

3．基本方針

中所得国化に向けた、持続可能かつ公平な経済成長の加速化と貧困からの脱却に向けた支援を基本方針とする。我が国は、同方針に沿って同国の経済活動の活性化及び社会の脆弱性の克服への取組を支援する。

4．重点分野

（1）中所得国化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化：運輸・交通インフラを整備し、人とモノの効率的な移動の促進、地域間格差の解消に貢献し、発電所及び送配電網の整備等を通じて、電力供給量の増加を図る。また、民間セクターの活動を振興し、民間投資を誘致・増加させるため、投資環境の改善を支援する。

（2）社会脆弱性の克服：貧困削減、初等教育、母子保健、安全な飲料水の供給等のMDGsの達成に貢献する。また、災害予警報、地震対策、河川管理等を中心に防災・気候変動対策や農村部の生活環境改善・生計向上を支援する。

※注）1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。
2. 2010年～2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
（　）内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

表－2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表－1 の詳細）

(単位：億円)

年　度	円借款	無償資金協力	技術協力
2012 年度	1,663.76 億円 ・ダッカ都市交通整備計画（I）(104.77) ・ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設計画 (414.80) ・全国送電網整備計画 (187.36) ・カチプール・メグナ・グムティ第 2 橋建設及び既存橋改修計画（I）(289.45) ・カルナフリ上水道整備計画（フェーズ 2）(348.47) ・バングラデシュ北部総合開発計画 (205.56) ・再生可能エネルギー開発計画 (113.35)	22.08 億円 ・食糧備蓄能力強化計画（国債 1/3）(1.58) ・地下水調査及び深層帯水層水源開発計画 (7.28) ・日本NGO連携無償(4 件) (0.72) ・貧困削減戦略支援無償(1 件) (5.00) ・食糧援助(WFP連携)(1 件) (4.70) ・人材育成奨学計画(3 件) (2.02) ・草の根・人間の安全保障無償(8 件) (0.78)	・住民参加による統合水資源開発のための能力向上プロジェクト [12.10～17.10] ・ITEEマネジメント能力向上プロジェクト [12.10～15.12]
2013 年度	な　し	40.86 億円 ・食糧備蓄能力強化計画(国債 2/3) (9.00) ・航空保安設備整備計画 (24.02) ・日本NGO連携無償(3 件) (0.59) ・貧困削減戦略支援無償(1 件) (5.00) ・人材育成奨学計画(3 件) (1.77) ・草の根文化無償(1 件) (0.02) ・草の根・人間の安全保障無償(5 件) (0.46)	・デジタルバングラデシュ構築のための地図作成能力高度化プロジェクト [13.10～16.12] ・公共投資管理強化プロジェクト [13.11～16.11] ・地方都市行政能力強化プロジェクト [14.02～17.12] ・チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト [14.03～18.03]
2014 年度	1,209.86 億円 ・ハオール地域洪水対策・生計向上計画 (152.70) ・マタバリ超々臨界圧石炭火力発電計画（Ⅰ） (414.98) ・小規模農家農業生産向上・多様化振興融資計画 (99.30) ・天然ガス効率化計画 (235.98) ・包括的中核都市行政強化計画 (306.90)	14.05 億円 ・食糧備蓄能力強化計画(国債 3/3) (10.98) ・ダッカ及びラングプール気象レーダー整備計画（詳細設計） (0.24) ・日本NGO連携無償(3 件) (0.57) ・人材育成奨学計画(3 件) (2.05) ・草の根・人間の安全保障無償(3 件) (0.21)	・ダッカ都市交通マネジメントプロジェクト [14.04～16.06] ・ダッカ市都市交通料金システム統合のためのクリアリングハウス設立プロジェクト [14.06～17.03] ・国家健全性戦略支援プロジェクト [14.09～16.08] ・公衆衛生工学局総合能力強化プロジェクト [14.12～18.11] ・教育テレビ設立支援プロジェクト [15.03～17.09]
2014 年度までの累計	10,666.35 億円	4,777.73 億円	794.66 億円(723.40 億円) 研修員受入　14,941 人 専門家派遣　3,201 人

注）1．表－1 注釈同様
2．技術協力においては、2012 年度以降に開始され 2014 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の［ ］内は、協力期間。

表－3　我が国の対バングラデシュ援助形態別実績（OECD/DAC 報告基準）

（支出純額ベース、単位：百万ドル）

暦　年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合　計
2010 年	-45.20	30.99 (9.69)	38.39	24.19
2011 年	11.76	23.35 (11.69)	43.09	78.20
2012 年	248.26	5.55 (1.73)	51.65	305.46
2013 年	263.75	17.55 (5.12)	45.96	327.27
2014 年	246.96	17.36	43.37	307.70
累　計	545.49	4,927.03 (58.03)	908.26	6,380.78

出典）OECD/DAC

注）1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力に計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。（　）内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数）。

2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、バングラデシュ側の返済金額を差し引いた金額）。

3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。

4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表－4　主要ドナーの諸外国の対バングラデシュ経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦　年	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		うち日本	合　計
2009 年	英国	250.08	日本	128.57	米国	99.76	ドイツ	73.13	オランダ	70.35	128.57	891.30
2010 年	英国	229.92	米国	151.50	日本	142.54	カナダ	86.11	デンマーク	84.31	142.54	1,044.25
2011 年	英国	368.62	日本	211.92	米国	142.87	韓国	81.80	オーストラリア	79.58	211.92	1,264.85
2012 年	日本	449.50	英国	310.81	米国	215.65	オーストラリア	120.85	ドイツ	81.63	449.50	1,498.17
2013 年	日本	435.25	英国	426.11	米国	175.23	ドイツ	111.71	オーストラリア	91.91	435.25	1,593.05

出典）OECD/DAC

表－5　国際機関の対バングラデシュ経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦　年	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		その他	合　計
2009年	ADB Sp. Fund	354.55	IDA	328.48	EU Institutions	131.87	GAVI	26.79	Isl.Dev Bank	25.07	109.97	976.73
2010年	IDA	352.40	ADB Sp. Fund	286.05	EU Institutions	188.65	GAVI	52.00	GFATM	42.08	131.25	1,052.43
2011年	IDA	364.72	ADB Sp. Fund	288.30	EU Institutions	159.12	GFATM	33.82	GAVI	31.86	134.59	1,012.41
2012年	IDA	703.93	ADB Sp. Fund	356.83	IMF-CTF	140.03	EU Institutions	128.21	GFATM	28.77	121.81	1,479.58
2013年	IDA	675.53	IMF-CTF	416.89	ADB Sp. Fund	348.82	EU Institutions	119.97	GAVI	96.95	169.82	1,827.98

出典）OECD/DAC

注）順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表－6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件（開発調査案件を含む）（開始年度が 2010 年度以降のもの）

案　件　名	協力期間
中核都市包括的開発機能強化プロジェクト	12.10～13.12
持続的な水関連インフラ整備に係る能力向上プロジェクト	13. 7～16. 6
省エネルギーマスタープラン策定プロジェクト	14. 1～15. 2
経済特区開発調査および BEZA 能力向上プロジェクト	14.12～16. 3

出典）JICA

表－7　2014 年度実施協力準備調査案件

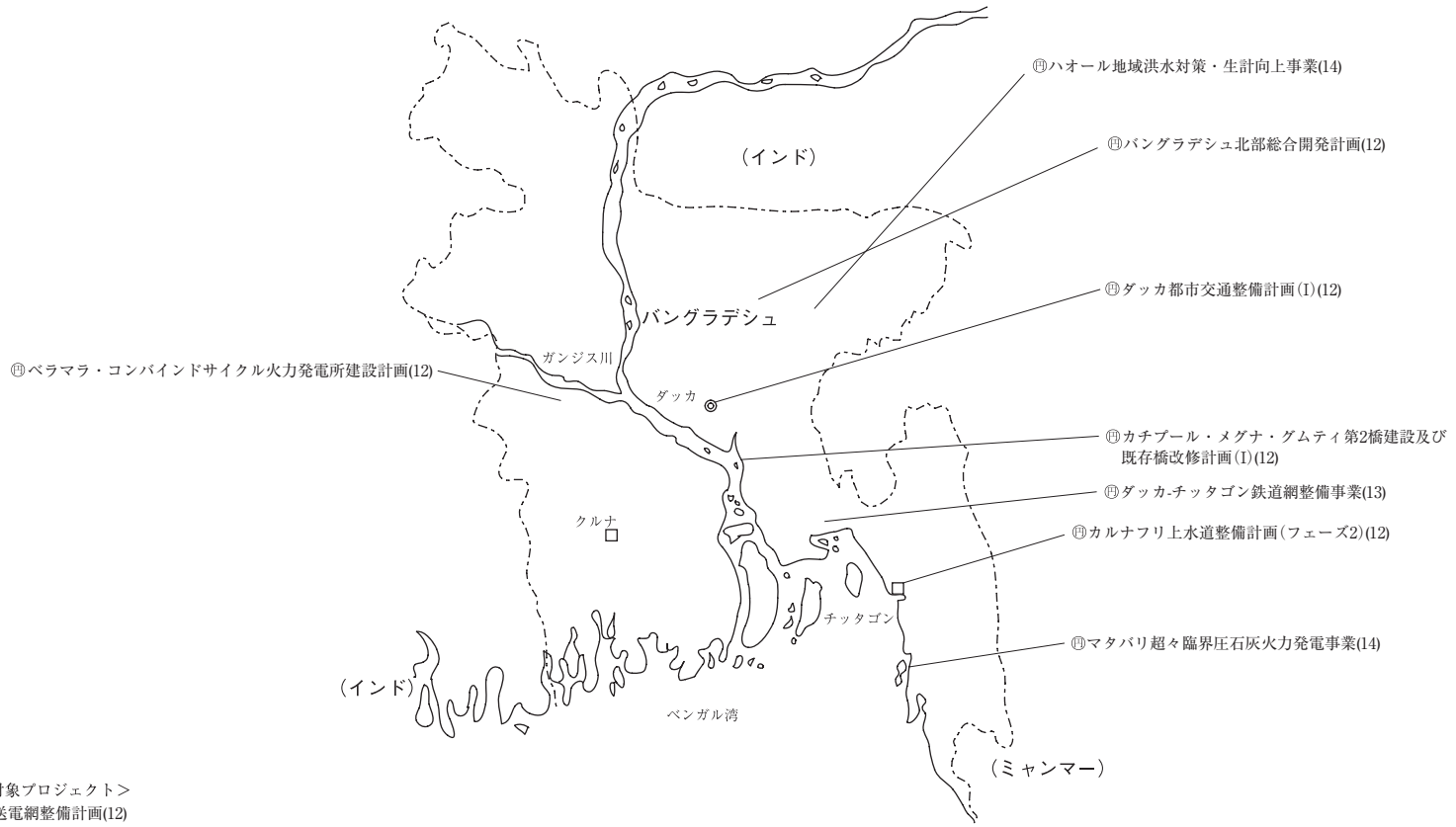
案　　件　　名	協　力　期　間
チッタゴン石炭火力発電所建設事業準備調査	12. 7～15. 3
風力発電機と太陽光エネルギーによるミニ淡水化装置事業準備調査（BOP ビジネス連携促進）	12. 7～14. 5
人材育成奨学計画準備調査	13. 7～14. 7
航空保安設備整備計画準備調査	13. 9～14. 4
西部バングラデシュ橋梁改修事業準備調査	13.10～15. 4
ダッカ及びラングプール気象レーダー整備計画準備調査	14. 2～15. 1
母子保健改善事業（保健・人口・栄養セクター開発プログラム）（フェーズ 2）準備調査	14. 3～15. 6
ダッカ-チッタゴン基幹送電線強化事業準備調査	14. 4～15. 6
外国直接投資促進事業準備調査	14. 5～15. 2
廃棄物管理機材整備計画準備調査	14. 7～15. 3
地方行政強化事業準備調査	14. 7～15. 3

出典）JICA

表－8　2014 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案　　件　　名
ガイバンダ県コミュニティー・ラジオ放送機材整備計画
ジョソール県砒素対応能力強化計画
ボグラ・ショドール郡冠疾患集中治療サービス拡張計画

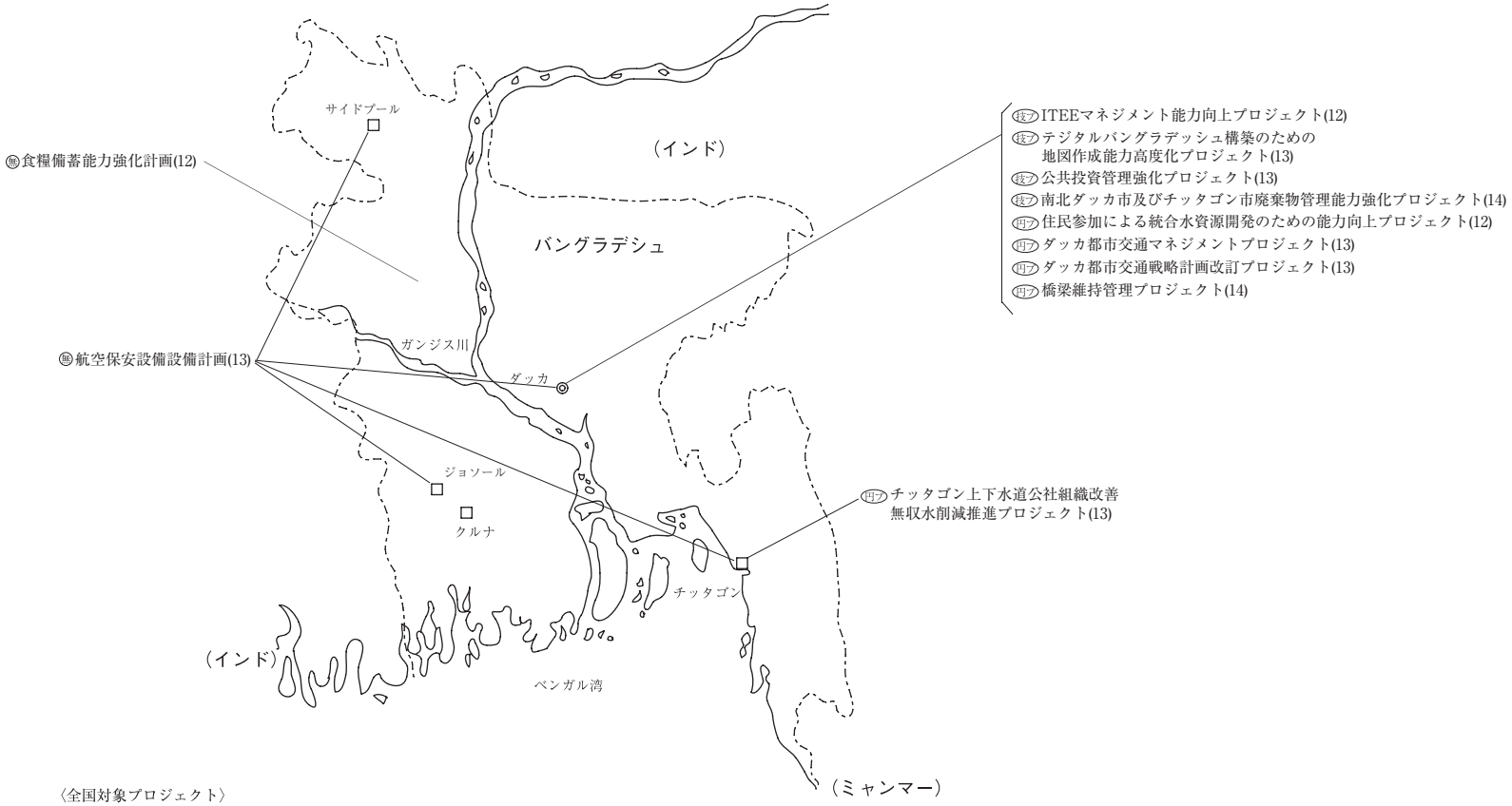
主なプロジェクト所在図（2012年度―2014年度）　　バングラデシュ①　（円借款）



＜全国対象プロジェクト＞
㊐全国送電網整備計画(12)
㊐再生可能エネルギー開発計画(12)
㊐小規模農家農業生産性向上・多様化振興融資事業(14)
㊐包括的中核都市行政強化事業(14)
㊐天然ガス効率化事業(14)

主なプロジェクト所在図（2012年度―2014年度）

バングラデシュ②　（無償資金協力及び技術協力プロジェクト及び円借款附帯プロジェクト）



〈全国対象プロジェクト〉
- 無 人材育成奨学計画(12)(13)
- 無 食糧援助（WFP連携）(12)
- 無 貧困削減戦略支援無償(12)(13)
- 無 地下水調査及び深層帯水層水源開発計画(12)
- 技プ 省エネルギーマスタープラン策定プロジェクト(13)
- 技プ 教育テレビ設立支援プロジェクト(14)
- 円プ 地方都市行政能力強化プロジェクト(13)